

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

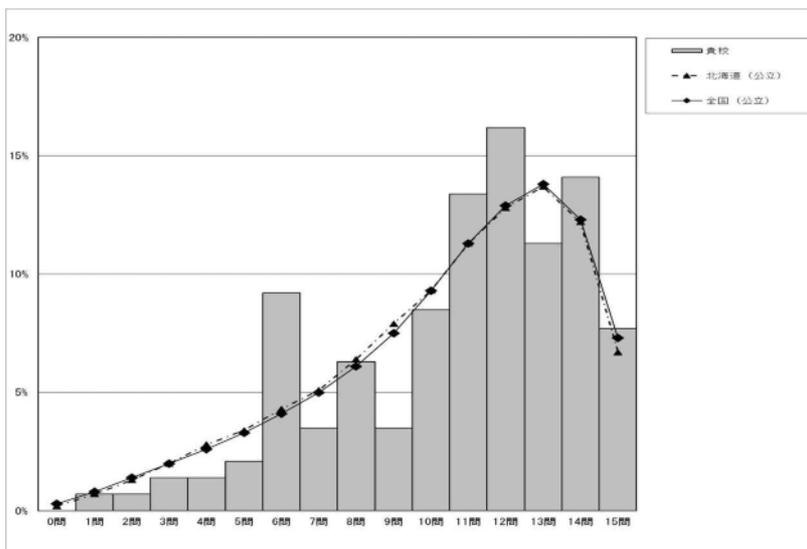
さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査結果を踏まえ、生徒の学力向上に向けた行動プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んでまいります。

1 教科に関する調査結果

国語

全国の平均正答率と比較して「ほぼ同様（上位）」の結果でした。

①正答数の分布



全道・全国と「ほぼ同様（上位）」の分布を示しています。正答数の数によってばらつきが見られますが、平均してみると、正答数が11問、12問、14問の割合が高いことから、正答率は全道・全国と同程度になっていると考えられます。

②学習指導要領の内容別の結果

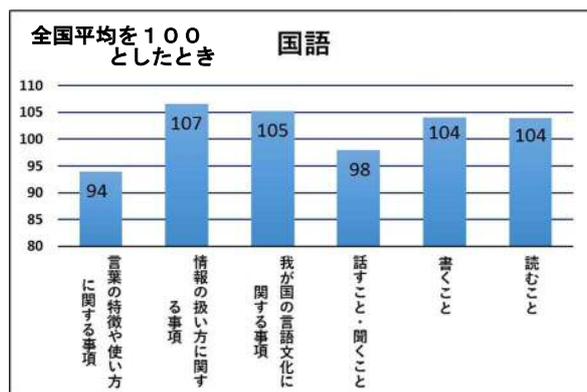
【知識及び技能】

- (1)言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2)情報の扱い方に関する事項
- (3)我が国の言語文化に関する事項

(1)の問題は2問あり、選択式と短答式が1問ずつでした。どちらも3～5ポイント全国を下回っていました。

(2)の問題は2問あり、選択式と短答式が1問ずつでした。どちらの問題も正答率が全国を上回りました。特に「具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる」の正答率は全国比で7.2ポイント高くなりました。

(3)の問題は3問あり、短答式が2問、記述式が1問でした。どの問題も無解答率が全国より低く、その中でも「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる」の正答率が全国比で9.0ポイント高くなりました。



【思考力、判断力、表現力等】

A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと

Aの問題は3問あり、うち2問の正答率が全国を下回りました。特に「聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」については、全国比で4.3ポイント低くなりました。

Bの問題は2問ありました。その中で、「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる」という選択式の設問については、全国比で7ポイント高くなりました。

Cの問題は選択式で2問、記述式で2問ありました。その中で、「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる」という記述式の設問では、全国比で8.5ポイント高くなりました。

【全国比で正答率が低かった問題の例】

1 三・四 「話すこと・聞くこと」の学習においては、「話題の設定、情報の収集」に関する指導事項が、「話すこと」、「聞くこと」、「話し合うこと」に共通する指導事項であることに留意し、「話すこと」だけでなく、「聞くこと」や「話し合うこと」を中心とした学習においても、何のために、何を話題として取り上げるのかを明確にすることが必要です。また、実際にインタビューをする場面では、話し手の意図を考えながら聞き、必要に応じて相手が言いたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりすることが大切になります。

南 青空中学校の南と申します。先日、インターネットで、星野さんの記事を見ました。今日は、星野さんの製品開発に対する思いについて、詳しくお聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

星野 こちらこそ、よろしくお願ひします。

南 早速ですが、星野さんは、製品開発に当たり「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」とおっしゃっていましたが、そのように考えるのはどうしてですか。

星野 はい。お客様の安全を守るための配慮をすることは当然なのですが、それだけでは不十分で、お客様のニーズに応じた多様なデザインや、年代を問わず手軽に使用できる利便性が求められるからです。お客様向けのアンケート調査などからも、そういった声が多く聞かれます。例えば、電気ケトルは何かのはずみで倒れる可能性があります。だからといって、例れにくい形状にすることだけを考えると、デザイン性が損なわれてしまいます。私たちが開発している電気ケトルは、デザイン性に配慮しつつも、倒れたときに熱湯がこぼれにくい構造になっています。このように、安全性とデザイン性の両立を図っています。

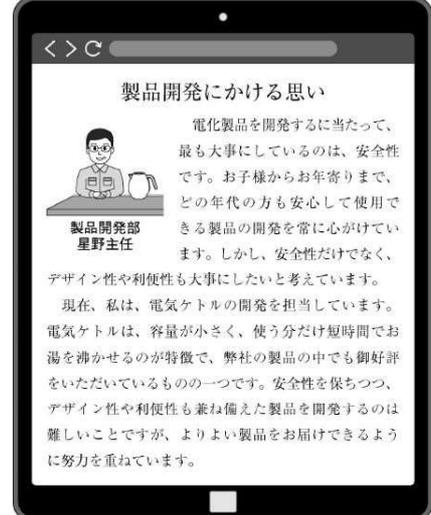
南 なるほど、いろいろなことを想定しながら開発しているんですね。

星野 そのとおりです。どの製品を開発するに当たっても、お客様のことを第一に考えています。製品を使用してください。お客様への期待に応えるために、努力は惜しみません。

南 お客様のことを大切にしている思いが分かりました。次の質問ですが、先ほど「電気ケトルの安全性とデザイン性の両立についてお話を伺いましたが、安全性と利便性の両立についても、具体的に教えてください。

星野 例えば、利便性と両立という点では、手軽に使うことを重視するお客様も多くいらっしゃる中で、電気ケトルの軽量化にも努めています。しかし、軽くするために構造を簡素化すると、手に触れる部分に熱が伝わりやすくなってしまったり、安全性が損なわれることがあります。毎日、こうした課題の解決に頭を悩ませています。

「インタビューの様子」



「インターネットの記事」

1 南さんは、総合的な学習の時間に、「社会で働く上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。インターネットで情報を集めていた南さんは、「電気製品を開発している星野さんの記事に興味をもち、会社を訪問して星野さんにインタビューをしました。次の「インターネットの記事」、「インタビューの前に準備したメモ」、「インタビューの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。

- 〈インタビューの目的〉
- 星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にします。
- 〈インタビューを通して知りたいこと〉
- ・「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。
 - ・「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
 - ・社会で働く上で何が大切だと思うか。

「インタビューの前に準備したメモ」

四 「インタビューの様子」の□で南さんは、インターネットを通して自分が考えた「社会で働く上で大切なこと」を星野さんに伝えてインタビューを終えようとしています。あなたなら、どのように話しますが、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消してから行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「インタビューの様子」から、星野さんの話の内容を具体的に取り上げて書くこと。

条件2 条件1で取り上げた内容を踏まえ、「社会で働く上で大切なこと」についてあなたが考えたことを書くこと。

四 正答(例)

星野さんのお話を伺い、自分とは異なる考えや見方を生かすことの大切さが分かりました。私も社会で働くときには、仲間と話し合うことを大切にしようと思いました。

四 正答率 78.2% (82.5%)
無解答率 14.1% (10.8%)

三 正答 2

「4」と答えた割合が全国と比べ4.2ポイント高かったです。南さんが、「星野さんの発言に自分の体験を関連付けて質問をしている」ことを捉えることができていないものと考えられます。

三 正答率 73.2% (76.6%)
無解答率 0.0% (0.2%)

2 課題を解決するために、星野さんはどのようにしてアイデアを生み出しているのでしょうか。私は美術部に所属しているのですが、よいアイデアが浮かばず、作品の制作が滞ってしまっていることがあります。

星野 よいアイデアはなかなか浮かばないものですよ。そういうときは、私は仲間と話し合うようにしています。年代や経験が異なるメンバーで話し合っていると、一人だけで考えていたときには思いつかなかったアイデアが生まれてきます。自分とは異なる考えや見方を生かすことは、学校でも職場でも大事なことでないでしょうか。

南 確かに、そうですね。他にも、働く上で大切にしていることはありますか。

星野 自分の専門分野以外にも目を向けることです。一つのことにとらわれすぎると、新たな発想は生まれませんが、様々な発見を大切にしながら働いています。

南 とても参考になりました。質問は以上です。

南 ありがとうございます。

【全国比で正答率が高かった問題の例】

- ③ 一 事実やそれを基に考えたことをレポートなどにまとめて書く際には、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することが大切です。また、読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることが重要です。

正答 4

読み手の立場に立って、語句の用法や叙述の仕方を確かめて、文章を整えることができている。「もち」を「もったため」に直すことにより、「ため」の前後で述べている事柄の関係が原因・理由とその結果であることが明確になることを捉えています。

正答率 61.3% (54.3%)
無解答率 0.7% (0.6%)

③ 山田さんは、国語の時間に、言葉に「興味」をもったことについてレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの「書きのしるし」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「判じ絵」について 山田 光一

1. はじめに
学校図書館の本で、「判じ絵」というものを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもたれ、詳しく調べたことにした。

2. 調査方法
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果
■「判じ絵」とは何か
「判じ絵」とは、描かれている絵や図などが何の意味しているかを解読して楽しむものである。
【ア】ただし、【図1】のように、描かれているもの【図1】ザルと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じ絵」こと、つまり、知っていることをもとに「話し直して考える」ことが必要になる。【イ】調べてみれば、なぞなぞやクイズのようなものである。【ウ】また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。【エ】そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵とつながりの深い文化として定着していったという。【オ】さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見る事ができる。
■「判じ絵」の解読の面白さ
「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。
【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、鳥の「スズメ」という意味になる。
【図3】は、



【図3】

- ④ 三 生徒が古典に親しみをもてるようにするには、取り上げる指導事項に応じて、どのように古典の教材を活用して授業を行うのかを考えることが重要です。古文や漢文特有のリズムを味わったり文語のきまりを知ったりする際には、古典の原文を教材とし、古典の文章の内容を概括したり古典の文章に関する様々な事柄に触れたりする際には、分かりやすい現代語訳や古典について解説した文章などを教材に加えるなど、指導する内容や生徒の実態に応じて教材を工夫することが必要です。

正答 (例)
「よろづのこと」を「笠、竿、箒、籠、筆、箱、筒、箸」というように具体的に書いて、翁が竹でどのようなものを作っていたのかが分かるようにしている。

正答率 58.5% (50.0%)
無解答率 20.4% (20.7%)

三 【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものですが、どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。
なお、読み取った文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加れたりしてもかまいません。

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】

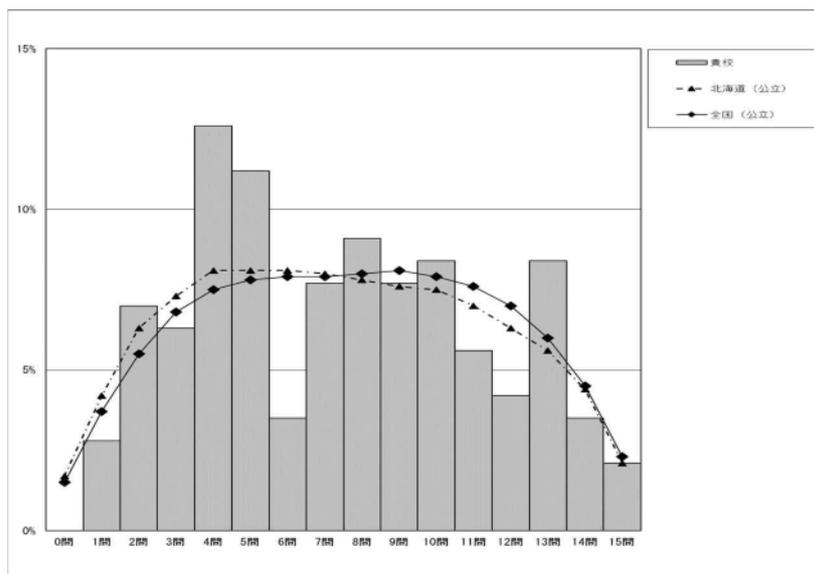
むかし、竹取りじいさんと呼ばれる人がいた。名はミヤツコ。時には、讃岐の海麻呂と、もっともらしく乗ったりする。野や山に出かけて、竹を取ってきて、さまざまな品を作る。
笠、竿、箒、籠、筆、箱、筒、箸。
自分でも作り、職人たちに売ることもある。竹については、くわしいのだ。
ある日、竹の林のなかで、「一本の光るのをみつけた。ふしぎなことだと、そばへ寄ってよく見ると、竹の筒のなかにもあるものがあるらしい。
その部分を、ていねいに剖つてみる。手なれた仕事だ。なかには、手のひらに乗るような小さな女の子が、すわっていた。まことに、かわいらしい。
【星新一「竹取物語」による】

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

【原文】
今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつづ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造と名むいひける。その竹の中に、も光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見ると、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いどうつくしうてあたり。
【現代語訳】
今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思っ、近寄って見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ばかりの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

- ④ 石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。次は、「授業で読んだ「竹取物語」の一部」の【原文】とその【現代語訳】、「学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

①正答数の分布

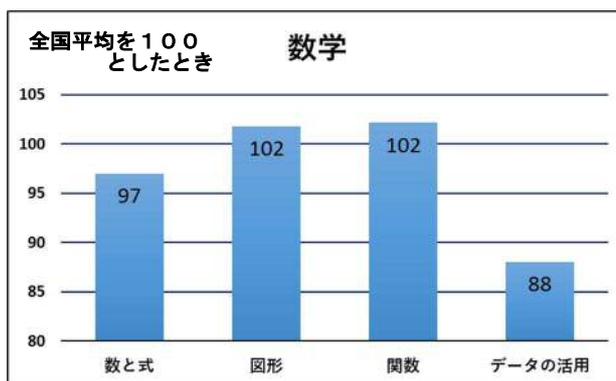


全道・全国と「ほぼ同様（下位）」の分布を示しています。全体的に全道・全国と大きな差はありませんが、正答数が4～5問の層の割合が全道・全国より多いことが、全道・全国との正答率の差になったと考えられます。また、無解答率が全体として全国と比べやや高くなっており、特に、記述式の問題5問すべてにおいて、無解答率が全国比で4～8ポイント高くなっていました。

②学習指導要領の領域別の結果

【数と式】

この領域の問題は5問あり、そのうち3問が全国比を下回りました。特に、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる」の正答率は全国比で6.4ポイント、「結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる」の正答率は全国比で3.8ポイント低くなりました。計算の例から予想した事柄が成り立つことを確かめ、その上で条件を変えたときに、予想した事柄が成り立つことを、文字を用いた式を使って説明したり、条件を変えたときに、数学的に表現したりすることに課題があることがわかりました。



【図形】

この領域の問題は3問あり、「空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる」の正答率は全国比で2.4ポイント下回りました。一方、「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる」の正答率は3.6ポイント上回りました。無解答率は全国比で7.5ポイント高かったものの、基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明することができている生徒が多いことがわかります。

【関数】

この領域の問題は4問あり、「反比例の意味を理解しているかどうかをみる」の正答率は全国比で4.1ポイント、「事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる」の正答率は全国比で5.4ポイント上回りました。まとめた表をもとにつくったグラフを直線で表したことがどのように考えたことになるかを捉えることができている生徒が多いと考えられます。

【データの活用】

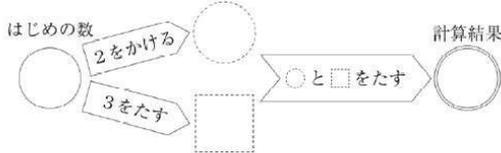
この領域の問題は3問ありましたが、その中で「累積度数の意味を理解しているかどうかをみる」と「四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる」という短答式2問の正答率に大きな差が見られました。前者の正答率は全国比で18.8ポイント低く、後者の正答率は全国比で6.3ポイント高くなりました。どちらの語句もデータの活用の領域において基本的な学習事項ですが、学習した年次のちがいによって正答率の差が出たものと考えられます。3年間を通じた継続的な学びが課題であることがわかります。

【全国比で正答率が低かった問題の例】

⑥ (2) 数に関する事象を考察する場面において、ある事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する問題です。説明1を参考にして、計算した式「 $3n+6$ 」を「 $3(n+2)$ 」と変形し、 $n+2$ は整数であることを記述し、その上で成り立つ事柄として、「 $3(n+2)$ は3の倍数であること」を記述する必要がありますが、必要な説明が書けない生徒や、無解答の生徒が多く見られたことが課題と考えられます。また、説明文章が不足し、「 $3n+6$ は3の倍数である」という記述で解答している生徒も多く見られました。

⑥ 次の図1のように、はじめの数として○に整数を入れて計算し、計算結果を求めます。

図1



夏希さんは、はじめの数として○にいろいろな整数を入れて計算しています。例えば、はじめの数が1、4、-5のときは、それぞれ下のような計算になります。

計算の例

はじめの数が1のとき

計算結果は 6 になる

はじめの数が4のとき

計算結果は 15 になる

はじめの数が-5のとき

計算結果は -12 になる

(2) 夏希さんは、前ページの計算の例の計算結果がどんな数になるかを調べています。

1のとき	6	$6 = 3 \times 2$
4のとき	15	$15 = 3 \times 5$
-5のとき	-12	$-12 = 3 \times (-4)$

夏希さんは、これらのことから、「はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果はいつでも3の倍数になる」と予想しました。この予想が成り立つことは、次のように説明できます。

説明1

はじめの数として入れる整数を n とすると、はじめの数に2をかけた数は $n \times 2$ 、3をたした数は $n + 3$ と表される。計算結果は、

$$n \times 2 + (n + 3)$$

$$= 2n + n + 3$$

$$= 3n + 3$$

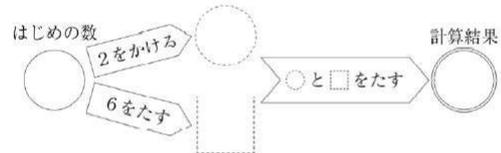
$$= 3(n + 1)$$

$n + 1$ は整数だから、 $3(n + 1)$ は3の倍数である。したがって、はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果はいつでも3の倍数である。

ここで、夏希さんは、前ページの図1で、はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果がいつでも3の倍数になるのは、「3をたす」の「3」が3の倍数であるからではないかと考えました。

そこで、7ページの図1の「2をかける」のかける数「2」は変えずに、「3をたす」のたす数「3」を3の倍数である「6」に変えた次の図2をかきました。

図2



そして、はじめの数として2、5、-4を入れ、計算結果が3の倍数になるか調べました。

2のとき	12	$12 = 3 \times 4$
5のとき	21	$21 = 3 \times 7$
-4のとき	-6	$-6 = 3 \times (-2)$

調べたことから、夏希さんは、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数に2をかけた数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になる」と予想しました。

この予想が成り立つことを説明します。下の説明2を完成しなさい。

説明2

はじめの数として入れる整数を n とすると、はじめの数に2をかけた数は $n \times 2$ 、6をたした数は $n + 6$ と表される。計算結果は、

$$n \times 2 + (n + 6)$$

$$=$$

正答(例)

$$= 3n + 6$$

$$= 3(n + 2)$$

$n + 2$ は整数だから、 $3(n + 2)$ は3の倍数である。
したがって、はじめの数に2をかけた数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数である。

正答率	52.4%
(58.8%)	
無解答率	18.2%
(10.6%)	

【全国比で正答率が高かった問題の例】

9 (1) 合同な図形の性質や平行線の性質などを用いて、厚紙で作った2つの二等辺三角形を使ってひいた2つの直線について考察する問題です。「 $\angle BCA = \angle EAC$ 」の根拠として、「 $\triangle ABC \equiv \triangle CEA$ より、合同な図形の対応する角は等しい」を、「 $BC \parallel AE$ 」の根拠として、「錯角が等しい」を記述することができている生徒が多く見られました。

9 次の図1のように、 $CA = CB$ の二等辺三角形 ABC と、 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ となるような $\triangle DEF$ の2つの三角形を厚紙で作ります。

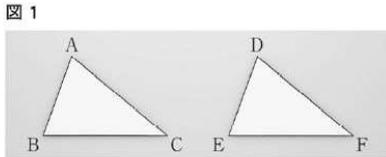
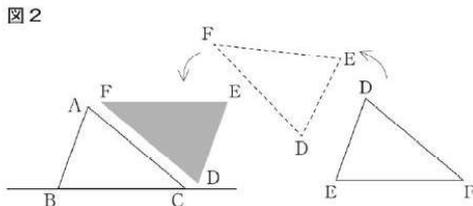


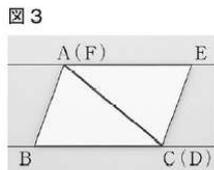
図1の2つの三角形の厚紙を使って、次の方法1と方法2でそれぞれ2つの直線をひきます。

方法1

① $\triangle ABC$ を置いて、直線 BC をひく。そして、図2のように、 $\triangle DEF$ を回して、点 F を点 A に、点 D を点 C に重ねる。

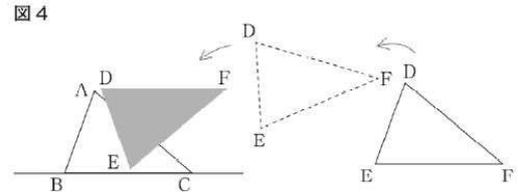


② 図3のように、点 A と点 F が重なった点を A として、直線 AE をひく。また、点 C と点 D が重なった点を C とする。

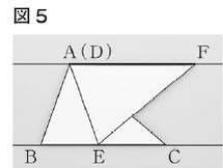


方法2

① $\triangle ABC$ を置いて、直線 BC をひく。そして、図4のように、 $\triangle DEF$ を回して、点 D を点 A に、点 E を直線 BC 上に置く。ただし、点 E は点 B と重ならないように置く。



② 図5のように、点 A と点 D が重なった点を A として、直線 AF をひく。



優奈さんは、方法1の直線 BC と直線 AE 、方法2の直線 BC と直線 AF がそれぞれ平行になるのではないかと考え、調べることにしました。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 優奈さんは、前ページの方法1の直線 BC と直線 AE が平行になるかどうかを調べるために、右の図6をかきました。図6の $\triangle ABC$ と $\triangle CEA$ は、それぞれ $CA = CB$ 、 $AC = AE$ で、 $\triangle ABC \equiv \triangle CEA$ です。

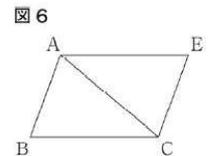


図6において、 $BC \parallel AE$ であることは、すでにわかっている $\triangle ABC \equiv \triangle CEA$ をもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。 $BC \parallel AE$ であることを証明しなさい。

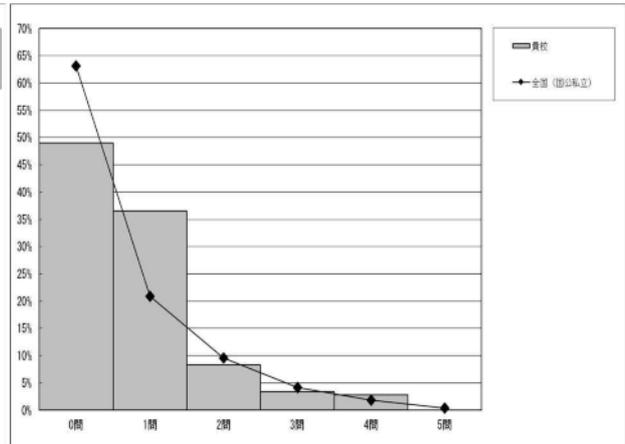
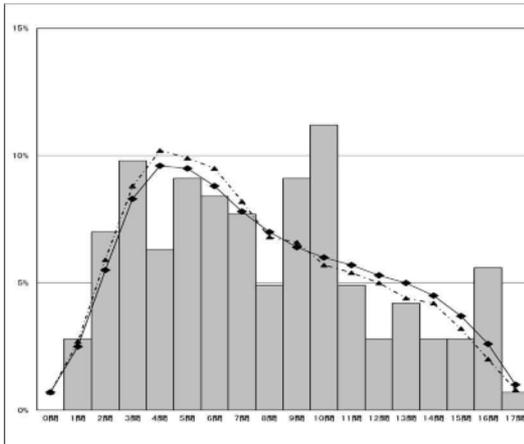
正答(例)

$\triangle ABC \equiv \triangle CEA$ より、合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle BCA = \angle EAC$
 よって、錯角が等しいから、
 $BC \parallel AE$

正答率
 35.7%
 (32.1%)
 無解答率
 32.2%
 (24.7%)

①正答数の分布（聞くこと・読むこと・書くこと）

（話すこと）



「聞くこと・読むこと・書くこと」は、全道・全国と「同様」の分布を示しています。正答数の数によってばらつきが見られますが、平均してみると、正答率は全道・全国とほぼ同様になっていると考えられます。

「話すこと」の正答数については、全国と比べて0問の割合が15%程度少なく、1問の割合が15%程度多くなっており、平均正答率は全体として、全国と比べやや高くなっていました。

②領域別の結果

【聞くこと】

この領域の問題は選択式で6問あり、正答率を全国比で見ると、3問が上回り、3問が下回りました。情報や単語を正確に聞き取ることに課題が見られる一方、「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる」の正答率は全国比で14ポイント、「社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる」の正答率は全国比で6ポイント、ともに上回りました。

【読むこと】

この領域の問題は選択式で6問あり、そのうち5問の正答率が全国比で下回りました。英文を読んで、事実と考えを区別したり、日常的な話題について自分の置かれた状況から判断したり、短い文章の概要を捉えたりする力に課題が見られることがわかりました。

【話すこと【やり取り】】

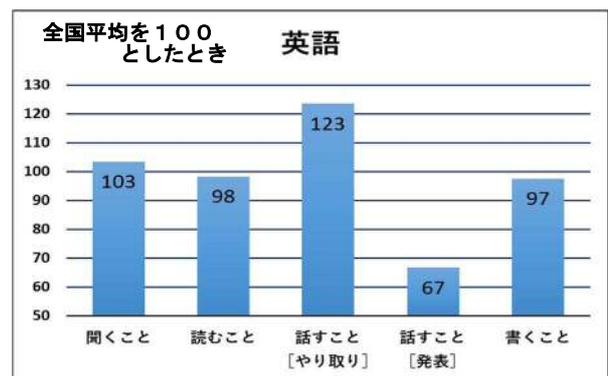
この領域の問題は4問あり、やり取りの場面において、即興で伝えあうことや、考えとその理由を述べあうことなどができるかどうかをみる問題でした。その中で特に、「日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる」の正答率は全国比で10ポイント上回りました。また、無解答率は全国比ですべて8ポイント程度低くなっていました。

【話すこと【発表】】

この領域の問題は1問あり、社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかを把握するために、環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を伝える問題でした。無解答率は全国と比べ8.5ポイント低かったですが、正答率は2.8ポイントと全国を1.4ポイント下回る結果でした。条件を満たして解答することができている生徒は少なかったと考えられます。

【書くこと】

この領域の問題は5問あり、短答式が3問、記述式が2問でした。正答率を見ると、与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる力に不足が見られました。また、「英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えと理由を書く問題」や、「日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く問題」では、無解答率が全国比でやや高かったものの、長文でありながらも必要な条件を満たして解答できている生徒も見られました。



【全国比で正答率が低かった問題の例】

9 (1) 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる問題です。①では、未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうか、②では、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかを把握することをねらいとしています。正しい語順で文を構成する力に課題が見られます。

9

(1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば () 内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>

A : I called you at eight last night.

B : Oh, sorry. I (do) my homework then.

[答え] was doing

① <先生と生徒の会話>

A : Do you have any plans for summer vacation?

B : Yes. I (visit) my uncle in London.
I can't wait!

A : Wow, that's nice!

② <友達同士の会話>

A : Oh, you have a new watch!

B : Yes, I got it yesterday.

A : (buy) the watch?

B : At a department store near the station.

①正答(例)

- am going to visit
- will visit

正答率

37.1%

(40.4%)

無解答率

4.9%

(6.6%)

②正答(例)

- Where did you buy

正答率

17.5%

(20.9%)

無解答率

8.4%

(10.9%)

話すこと2 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかを把握するために、環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を伝える問題です。正答例に記載しているような表現や、おおむね正確な英語(コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い)で解答できる生徒は少数でした。

英語の授業で、ニュージーランドから来た留学生が環境問題についてのプレゼンテーションをしています。その発表やスライドの内容をもとにして、あなた自身の考えとその理由を英語で伝えましょう。1分間話す内容を考えたあと、30秒で話してください。メモを取ってもかまいません。それでは、プレゼンテーションを聞きましょう。



(スクリプト)

Do you buy plastic bags at the store? Or, do you use eco bags? Look at this picture. There are many plastic bags in the sea. It is a serious problem today. Now, look at this. I was really surprised to see this because over 25 % of people in Japan buy plastic bags at stores. In New Zealand, stores do not sell plastic bags and we take eco bags. Some people may say plastic bags are becoming more eco-friendly, but I recommend stores in Japan should stop selling plastic bags. What do you think?

正答(例)

- I like your idea. Many people in Japan use plastic bags. We must change our actions to protect the environment in New Zealand.
- I don't agree with you because a lot of stores in Japan sell eco-friendly plastic bags.

正答率

2.8%

(4.2%)

無解答率

10.3%

(18.8%)

【全国比で正答率が高かった問題の例】

③ ④ 日常的な話題について必要な情報を聞き取ったり、社会的な話題について短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる聞き取り問題です。「必要な情報を聞き取る」には、話されることの全てを聞き取ろうとするのではなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて必要な情報を聞き取ったり、自分の置かれた状況などから、何が自分にとって必要な情報であるのか判断した上で聞き取ったりすることが求められます。同様に、「要点を捉える」には、ある程度の情報が入ったまとまりのある説明文などから、より重要な情報は何かを判断する必要があります。

③ (放送問題)

あなたはイングリッシュキャンプに参加しています。これから、2班のリーダーとして明日のバーベキューパーティーについて説明を聞くところです。説明を聞いたあと、質問が放送されます。質問の答えとして最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

(スクリプト)

Tomorrow, we will have a barbecue party. We have three groups. Each group has a job. Group leaders, don't forget to tell your group members about your group's job. Group 1, can you make the fire and cook rice? Groups 2 and 3, please cut the vegetables together. After you finish cutting the vegetables, Group 2 cut the meat, and Group 3 set the tables for all the groups. Do you have any questions? If you have any questions, please ask me later.

- 1 To tell your group members about your group's job.
- 2 To make the fire and cook rice.
- 3 To cut the vegetables and the meat.
- 4 To cut the vegetables and set the tables.

Question: What is your group's job at the barbecue party?

正答率
55.2%
(41.2%)
無解答率
0.0%
(0.2%)

③ 正答 3

④ (放送問題)

あなたのクラスは、シンガポールにある姉妹校の生徒たちと、オンラインで地域の課題について意見交換をしています。これから、姉妹校の生徒であるジェニーの話聞くところです。ジェニーが最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

(スクリプト)

Hi, I'm Jenny. Today, I'm going to share our ideas about a water problem in our country. There isn't enough water in Singapore. My classmates and I talked about this problem at school. We all said, "We cannot do something big, but doing something to save water is important for even junior high school students." For example, I take showers for only five minutes each time. Also, I turn off the water when I brush my teeth. One of my friends uses rain water for the plants in his room. We are all trying to do something to save water. What do you think?

- 1 There isn't enough water in Singapore.
- 2 Doing something to save water is important.
- 3 I take showers for only five minutes each time.
- 4 One of my friends uses rain water for the plants in his room.

正答率
60.8%
(54.8%)
無解答率
0.0%
(0.4%)

④ 正答 2

⑦ (1) 文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉える問題です。概要を捉える際には、各パラグラフの構造を捉えることが重要であり、文と文との関係を正確に読み取ることは、その構造を捉えるために必要な技能の一つです。この問題では、空所の後に位置する people can read books on sofas, on tatami mats or in the library cafeteria. という英文が、空所の前に位置する There are many kinds of spaces, too. という英文の具体的な情報を示しているという読み取りができていた生徒が多数見られました。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

⑦ 次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

(注) creative: 創造的な
not only ~, but also ...: ~だけでなく、...も
puppet: 人形 workshop: ワークショップ
connect: ~をつなぐ while: ~する間

(1) 英文中の () に当てはまる語 (句) として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 Like this
- 2 For example
- 3 Then
- 4 Second

正答 2

正答率
66.4%
(59.8%)
無解答率
0.0%
(0.3%)

2 課題と今後の取り組み

【国語】

- 事象や行為、心情を表す語句や、文脈に即した漢字を書いたりすることに課題が見られます。事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることが必要です。第1学年では、学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする活動を、第2学年では、本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したり活動を、第3学年では、実用的な文章を読み、実生活への活かし方を考える活動に取り組みます。
- 話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することや、聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることに課題が見られます。必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめる活動などに取り組みます。

【数学】

- 累積度数の意味を理解し、値を求める問題において、正答率が全国比で大きく下回りました。不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面では、度数分布表やヒストグラムを作成し、データの特徴や分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断できるようにすることが大切になります。
- 構想を立てて説明し、問題解決の過程や結果を振り返って考えることに課題が見られます。数に関する事象を考察する力を伸ばすために、成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめ、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明することや、問題解決の過程や結果を振り返り、事象の特徴を的確に捉える活動などを充実させていきます。

【英語】

- 聞くことや読むことの領域においてやや課題が見られます。情報を正確に聞き取ったり、読み取ったりする力を伸ばすために、音声や語彙、表現、文法や言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くことや読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用する活動を充実させていきます。
- 話すことの領域においては、即興で伝えよう力を伸ばすことが求められます。そのために、関心のある事柄について相手からの質問に対し、その場で適切に回答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動や、社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に回答したり自ら質問し返したりする活動を進めていきます。

3 児童生徒質問紙の結果

【生活習慣】

- 毎日朝食をきちんと食べたり、就寝時間や起床時間が決まっているなど、規則正しい生活リズムで過ごすことができる生徒が多く見られます。活気ある前向きな生活を送るためにも、より一層の家庭での規則正しい生活リズムの確立がのぞまれます。また、読書の習慣はあるものの、新聞を読む割合は全道・全国と比べ大幅に少ない傾向です。

【学習習慣】

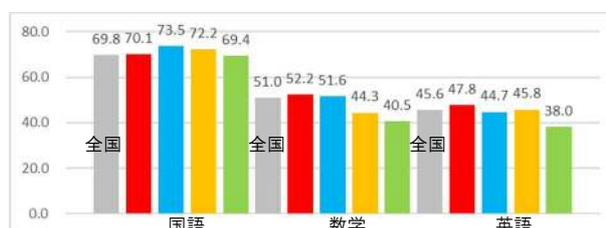
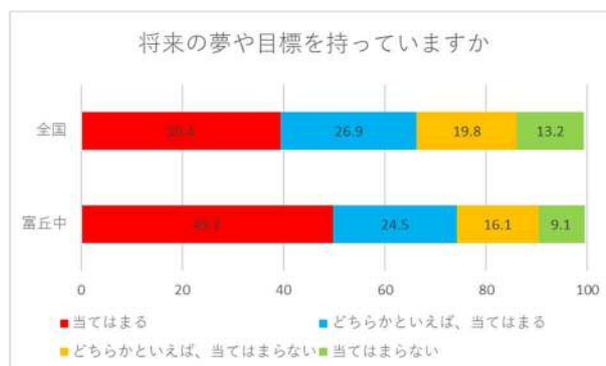
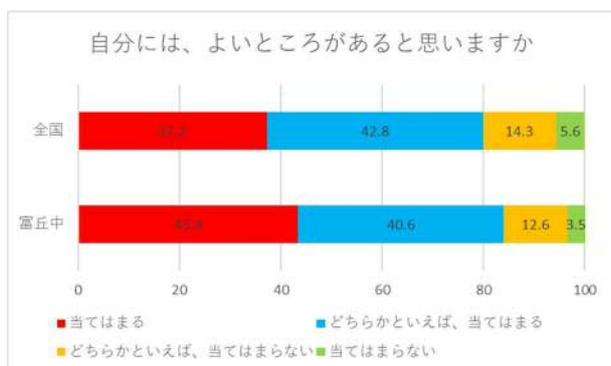
- 「家で自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合が、全道・全国よりやや低くなっており、昨年度より約10%下回りました。また、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか（2時間以上の割合）」「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか（2時間以上の割合）」が、全道・全国と比べどちらも約10%下回っていました。
- 学校での学習内容を定着させていくためにも、ある一定時間以上の家庭学習の時間は必要です。これからは、目標時間をしっかりと定めることで、学習にむかう意欲を向上させ、家庭学習の充実にもつなげてほしいと思います。

【自己有用感・規範意識等】

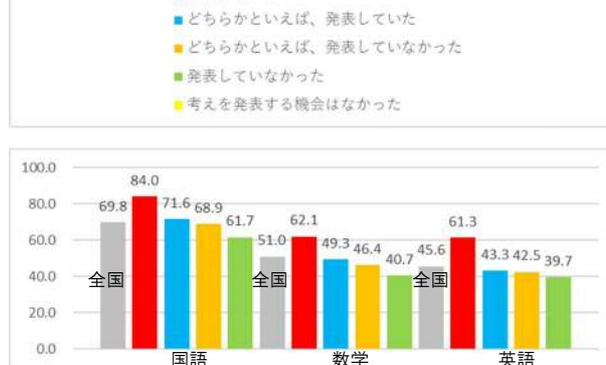
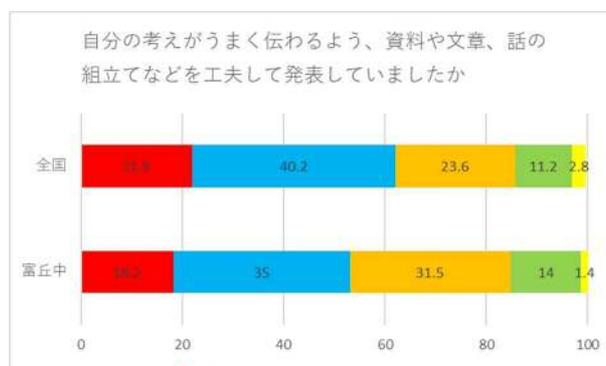
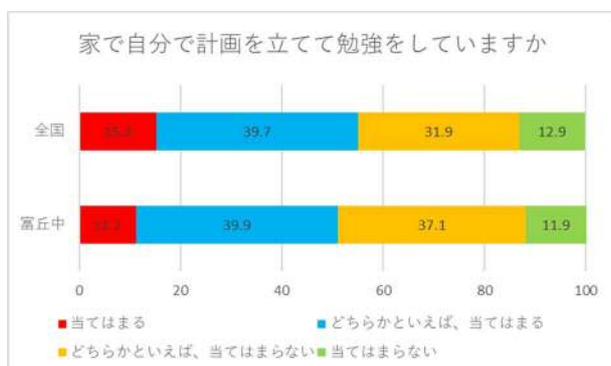
- 「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」と考えている生徒の割合が多く、自己有用感を感じている生徒が多いです。また、「人が困っているときは進んで助ける」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「いじめは絶対に良くない」と考えている生徒も多く、挑戦心や達成感、規範意識の強い生徒が多いことが分かります。
- 「学校に行くのは楽しい」と答えている生徒の割合が昨年度よりやや増加しています。また、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」「友達関係に満足している」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある」と回答した生徒の割合が全道・全国と比べ大幅に高いことから、コロナ明けの日常において、さまざまな活動が再開されていく中で、生徒が安心して学校生活を送ることができてきたことが伺えます。今後も生徒が生き生きと過ごすことができるような工夫をしていきたいと思えます。

4 質問紙調査結果と教科に関する調査結果のクロス分析

「児童生徒質問紙の回答結果」と「各教科の平均正答率」との関連性を図ることで、本校における指導と成果の一体化について把握・分析し、今後の学校活動での教育効果の充実と改善を検討していきます。今年度の特徴的なものについて、一部記載いたします。

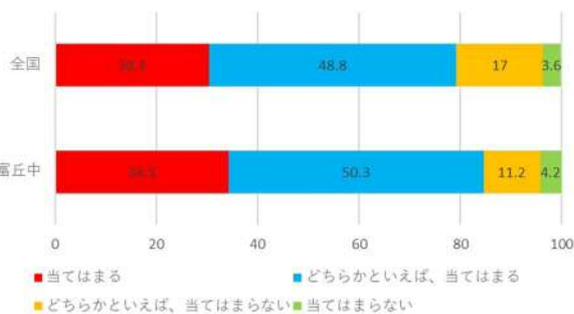


「自己有用感」や「夢や目標」などの質問では、肯定的な回答が全国よりも高い傾向にありました。また、「当てはまる」と回答した生徒の正答率との関連性を見ると、全国と比べてやや高い状況がわかります。自分に自信を持ち、目標に向かって取り組んでいる成果と、各教科の学習効果との関係性が表れています。

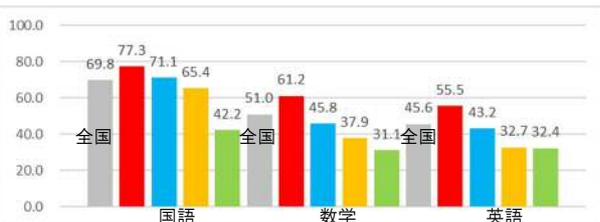
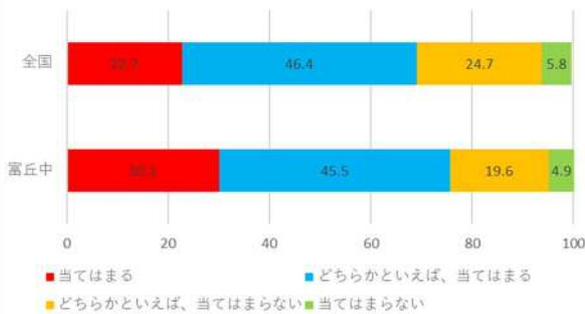


「学習の計画性」や「工夫した発表」などの質問では、肯定的な回答が全国よりも低い傾向にありました。しかしながら、「当てはまる」と回答した生徒の正答率との関連性を見ると、全国と比べて非常に高い状況がわかります。計画的に学習に臨むこと、相手に伝わるような工夫した発表を心がけるなど、これまでの学校教育活動でも重点的に進めてきたことについて、さらなる充実が求められていることが再認識できます。

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

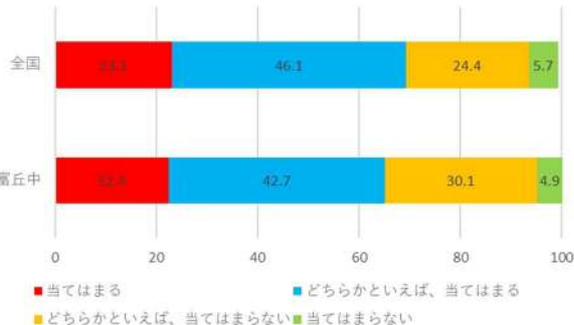


各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行いましたか

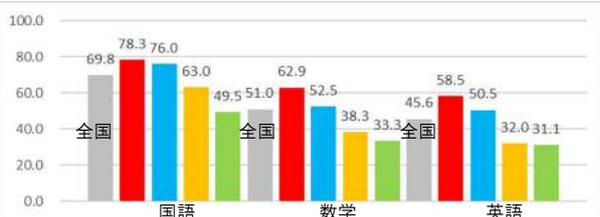
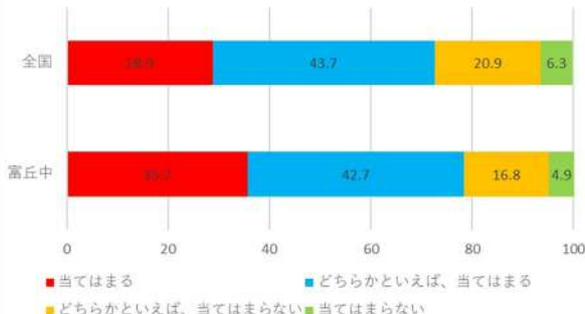


「自ら解決に取り組む」や「自分の考えをまとめる」などの質問では、肯定的な回答が全国よりも高い傾向にありました。また、「当てはまる」と回答した生徒の正答率との関連性を見ると、全国と比べて非常に高い状況がわかります。今年度の研究主題「学びに向かう力の育成」の具体的な取組の一つである「振り返りシートの活用」などにより、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢が培われていることの有用性が判断できる結果となりました。

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



「総合的な学習の時間への取組」の質問では、肯定的な回答が全国よりも高い傾向にありました。また、「当てはまる」と回答した生徒の正答率との関連性を見ると、全国と比べて非常に高い状況がわかります。教科の時間による学習だけでなく、家庭学習の取組や他教科との関連性、総合的な学習の時間での横断的な取組などによって、学習効果がさらに高まることがあらためて推察できる結果となりました。

学校では今後も家庭や地域の皆様と協力し、生徒一人一人とよい形で関わりながら、生徒それぞれが夢や目標を実現できる学校づくりを目指して参ります。ご家庭でも、お子様の夢や目標について、親子で話す機会をさらに設けていただき、前向きに目標を持った中学校生活を送っていただけるよう、いっそうの支えとなっていただければと思います。